キャラクター名
サク・リーン

プレイヤー名

ベースシークエンス	アンビュラス	**レベル**	2
アザーシークエンス	プロミネンス	**性別**	♀
出生タイプ		**年齢**	15

出自	ヤウズ	**運命**	手練	**瑕疵**	

	初期	成長	他修正	能力値	一般判定成功率
体	6	0	0	6	36 %
知	8	0	0	8	38 %
敏	6	0	0	6	36 %
運	13	0	0	13	43 %

HP	34
MP	47
移動時ウィル	7
戦闘時ウィル	24

装備品		命中	威力	回避	命中	威力	回避	行動	防護
武器１	スラッシャー	1	5						
武器２									
防具	マント			1			1		1
インナー									
アクセサリ	コンバットブーツ			1					
アクセサリ	レイヴンマークス						1		
能力値＋ボーナス		24	0	4	29	0	5	6	0
アーツ									
その他									
総計(１)		25 %	5	6 %	29 %	0	7 %	6	1
総計(２)		24 %	0	6 %	29 %	0	7 %	6	1
総計(両)		25 %	5	6 %	29 %	0	7 %	6	1

所持品			
活動基本装備			
イルクレニアスの発条錠			
（先生に預けた）			
小さなデコイドール（先生に預けた）			

所持金：　80　　預金・借金：

アーツ名	AL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	メモ
テンプテーション	1/5	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：出生値【運】に+[3xAL]							
ネゴシエーション	1/1	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：説得、言いくるめ、演説、交渉などの判定で【知】【運】の好きな方を使用できる							
パシフィズム	2/5	0	パーマネント	自身	味方全体	3	
効果：各ラウンド終了時、味方全員のHPを[2xAL]回復する　ベースがアンビュラスなら回復量が伸びる							
リザレクション	1/1	15	アクション	遠距離	味方単体	3	
効果：対象の戦闘不能を回復し、HP1で復活させる。対象はまだ未行動であれば、行動済みにならず行動可能							
パトロン	1/3	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：シナリオの開始時のみ使用可能　あなたは[500xAL]シルバーを得る。							
効果：							
効果：							
効果：							
効果：							
効果：							
効果：							
効果：							
効果：							
効果：							
効果：							
効果：							

《瑕疵》・頑固

《性格》・若くして商評議長の片腕として大人達とも対等に口を利き接していた為、物怖じをしない性格である。口が上手く外面も良いので誰とでもすぐに仲良くなれ、外面と口の上手さから交渉や説得で相手を説き伏せるのが得意。ただ一度、自分がこうだと決めると周りを巻き込んでも説き伏せてでも己の思う道を突き進む頑固さもあり、だがその人柄からそれらの事で他人から憎まれるようなことはないようである。戦闘は基本あまり好きでは無く、なるべく持ち前の交渉力で平和的に、かつ自分上位で話を進めてしまおうとする傾向があり、その説得には応じずに先々自分を邪魔する敵（障害）となりうると判断されると手痛い反撃に出たりする。幼い頃にヤウズに見出され交易を幼い頃から学んでいた為か旨い話や得をする話には敏感で儲け話には弱い傾向があり、自分へのプラスにならないただ働きを嫌う。

《設定》・西方交易都市ウェスレードの生まれで都市で交易商団の商評議長をしていたヤウズ・ベラフマの親友であった父を幼い頃に亡くし母もすでに亡くしていた事から父の親友でもあったヤウズ・ベラフマに引き取られ一緒に暮らしヤウズ・ベラフマを父のようにしたっていた。
ヤウズ・ベラフマは一緒に暮らすうちに幼いながらも時たま目を疑うような発想や発言からサクリーンの人とは少し違う才能に気づき初め自分の片腕として幼くも交易を間近で学ばせていた。
サク・リーンは天涯孤独の自分を引き取り娘のように育ててくれたヤウズ・ベラフマのやくに少しでもたちたいと強く思い行動してるうちにハイランダーとしての才能を覚醒させようだ。
ヤウズ・ベラフマの仕事を手伝う中、ヤウズ・ベラフマの紹介で知り合ったイドとは親友でありそんな彼女の両親も知らない裏の顔を知りつつも変わりなく接し頼っている。
普段は彼女を通り名で呼んでいるが、彼女の両親の前では本名で呼ぶようにと普段から使い分けて呼んでいる。
持ち前の頑固さとハイランダーとしての交渉で相手を説き伏せる力によって都市の繁栄に多大な貢献をするほどのカリスマ性があった。
その若いながらも都市を繁栄させる程のカリスマ性は諸外国にも名が届く程で、それがキッカケとなりアサルトエンジンからの入学の誘いが来る事ともなった。
当初は都市の商評議長の片腕という役目からアサルトエンジンからの誘いには迷いつつも本人は断る方向でと考えていたが、都市の上層部から『サク・リーンの才能を我が都市だけで独占していては世界は繁栄しない！』と言う強い声が上がり最後はヤウズ・ベラフマの後押しから、本人も専門的な機関であるアサルトエ